



まちに生きる子

校長 吉井 宣明

先日、日吉地区地域福祉関連施設を回るイベント「ふくふくスタンプラリー」が開催され、本校5年生が本校をポイントの一つとして参加させていただきました。「ふくふくスタンプラリー」とは、港北区日吉地区社会福祉協議会が地域の福祉活動について知ってもらうために開催している、各地区で地図に設定したスタンプポイントをまわるスタンプラリーのイベントです。各ポイントで趣向を凝らしたミニゲームや景品など、楽しんで福祉に触れることができるようになっています。



そもそもなぜ5年生が参加することになったかという、昨年度の学習が発端になっています。4年生の時、地域の高齢者との関わった経験から、お年寄りも小さい子も関わることはできないか、人と人とのつながりが持てる町、日吉をめざせないかそんな思いをもっていました。そこから今年度の総合的な学習の時間では、「日吉の福祉」をテーマにして学習を進めました。調べていくうちに日吉には社会福祉協議会というものがあり、そこが主催する「ふくふくスタンプラリー」を知りました。中には、実際に参加した経験がある子もいました。町の人たちをつなげて明るい日吉にしたいと考えていた子どもたちの思いは、社会福祉協議会の考えと、このイベントと共通するものがありました。自分たちでも拠点の一つとして参加したいという気持ちが膨らんだ子どもたちは、社会福祉協議会に連絡を取り、学校をスタンプラリーのポイントに入れてもらえることになったのです。

心に火が付いた子どもたちは大人の想像を超え、どんどん自分たちで調べ、課題があれば話し合い、トライ・アンド・エラーを繰り返しながら解決していく力強さがあります。福祉施設や防災拠点などクラスで担当を振り分け、施設を訪問して見学したりインタビューしたりしてどんどん知識や考えを深めていきました。そうした成果はクイズやかるた、パンフレットづくりにも生かされました。クイズができたり紹介動画が見られたりするQRコードも自分たちで作りました。来場者は、小さい子どもからご年配の方まで年齢も様々なので、みんなが楽しめる内容を考えるのには苦労したようです。



当日は、途切れることなく、たくさんの方に来ていただきました。防災や福祉施設など、クラスごとに分かれたブースはどこも盛況でした。来場してくださった地域の方や民生委員、自治会の方々など、皆さんに好評で、子どもたちの柔軟な発想や調べる力の高さを褒めていただきました。子どもたちにとって、間違いなく大きな経験となりました。3月には、4年生が町の商業施設で行われる防災フェアに発表者として参加を予定しています。こちらも楽しみです。